

環境芸術

30

2023

第23回大会報告&論文

その土地の
発酵と循環



Contents

004	第23回大会報告	高須賀 昌志 藤 浩志
006	2022年度 環境芸術学会賞 [学会賞] 受賞記念講演	今と、これからと。—学会賞受賞を受けて— 鈴木 太朗
007	2022年度環境芸術学会賞 [奨励賞] 受賞記念講演	石上城行これまでの活動 石上 城行
009	第23回大会報告	「発酵を促進するデザイン」 石川 マサル
010	研究発表の報告	秋田大会の口頭発表に寄せて 船山 哲郎
011	作品発表の報告	環境芸術学会第23回大会研究作品発表展 近藤 愛子
013	口頭発表 優秀プレゼンテーション賞 審査報告	時代を創る千態万様の挑みは熱く 大森 正夫
016	エキスカッション記	「新幹線という名の鈍行」という噂から、 我々は飛行機で秋田へ向かった 下山 肇
019	パブリックアート	パブリックアートについての4つの考察 竹田 直樹
028	プロジェクトレビュー	「VIDEO SPECTACLE 2023～山口勝弘ビデオ彫刻作品展示～」 森脇 裕之
030	環境芸術学会 第一回部会展	みなとメディアミュージアム展 小佐原 孝幸
033	論文	
034	電子音響音楽における音響素材の順序に関する認知基盤の研究 電子音響音楽創作ワークショップの意義の明確化に向けて	新井 聡真
040	「リカヴァリー」としてのインスタレーション 自作インスタレーション《〈疾患〉と〈治癒〉-通過儀礼としてのイナバノシロウサギ説話》についての反省的考察	飯嶋 桃代

044	油絵具と不飽和ポリエステル樹脂の混合着色剤 グレース技法を用いた立体造形による肌理の表現	小野 裕子
052	ワークショップにおけるアーティストのふるまいとファシリテーターの場づくり エピソードとF2LOモデルによるアーティストインスクールの事例分析	竹丸 草子
060	経年によって価値成長を生む《彫刻された森》に関する考察 公共芸術における時間軸評価の意義	小佐原 孝幸
068	伊藤若冲と江戸時代中期以降の絵師が描いた薔薇 日本画に描かれた薔薇 III 白砂 伸夫	
076	地球的視野を獲得するための高高度空間の芸術利用 Space-Moere プロジェクトを通じた高高度空間の鑑賞体験の創造	石田 勝也
082	貝殻を用いた表現の展開 貝殻を用いる意義とワークショップの可能性	大畑 幸恵
088	残余空間から読み解く環境芸術 展覧会《Outer Edge/ 知覚の外縁》における実践と考察	船山 哲郎
097	土地と身体から紡ぎ出される環境芸術 《共振する躯体》-流れ橋との身体的対話	宮本 一行
103	映画における地域資源と物語の関係 大林宣彦作品 映画「時をかける少女」を分析対象として	高橋 紀子
111	ノグチの日系コミュニティへの眼差し ノグチプラザと「一世に」を通して	曽根 博美
121	会則・投稿規定・論文執筆細則	
125	原稿フォーマット	
128	次回大会予告	環境芸術学会 第24回大会について
130	バックナンバー	
132	編集後記	